



5月議案書説明会のご報告と、主なご質問への回答

5月の議案書説明会にご出席いただいたみなさま、ありがとうございました。同封の総代会議案書をご覧いただく際に参考になりそうなご質問・ご意見を多くいただきましたので、ご紹介します。ご不明な点やご意見は「ご意見書」にお書きください。通常総代会へのご出席お待ちしております。よろしくお願いいたします。

◆2020年度報告について

Q1. 損益計算書で、保険料が2倍になっているのはなぜか。

A1. 2021年火災保険料の支払いを年度内に行い2020年度で2回分の支払となったこと、役員賠償保険を新規に契約したこと、2019年度行事保険料の一部を教育文化費に振り替えたため2020年度との差が発生したこと、車両増による車両保険が増加したことによるものです。

◆2021年度方針について

Q2. コロナ対策としてなされているマスク着用や消毒のしすぎが本当に健康に大丈夫なのか心配。そのようなことに対するコープ自然派奈良の見解を方針に盛り込めないか。
A2. 新型コロナウイルス感染症やその対策についてはまだ分からないことも多いです。引き続き学習を重ねて知見を深めていけたらと思っています。

Q3. 「広げる」に「地域に根差した活動」とあるが、具体的にはどのようなことを考えているのか。

A3. オーガニックビジネス実践拠点づくり事業(有機農家育成)、子ども笑顔基金プロジェクト、地区くらの強化、給食チーム設立支援などを考えています。

Q4. 「みらい」に「脱プラスチックのために今できることを考えます」とあるが、もう少し踏み込んだ取り組みをしてほしい。また組合員の意向をアンケート調査してもらえないか。

A4. 考えるだけでなく一歩一歩進めていきます。アンケートについては質問項目やアンケート結果の活用方法を丁寧に考えた上で実施できたらと考えています。これまでの取り組みがあって今ようやく卵パックのモールド化などが実現しようとしています。これからも組合員が声をあげることで取り組みを進めていきましょう。

Q5. ガゼット袋は回収しても再びガゼット袋にリサイクルされるわけではなく循環という意味では不十分だと思う。布のリユース袋にするなど発想の転換が必要では。

A5. ドライ商品の緩衝材をプラスチックから再生段ボールに変更するなど、使い捨てプラスチック排出抑制の取り組みもはじめています。衛生面との兼ね合いが課題になってきますが、引き続き実現可能な方法を検討していきます。

Q6. 卵パックがモールド化すると、紙は香りを吸着するので化学物質過敏症当事者としては卵が食べられなくなるのではないかと心配している。

A6. プラスチックパックの卵も販売を継続し、カタログ上で選んで購入してもらえるようになりますのでご安心ください。

Q7. 太陽光発電パネルの素材の採掘でウイグル族が強制労働させられているという情報があり、搾取ビジネスに加担することにならないか懸念している。

A7. 学習を重ねた上で導入するかどうか決定します。

Q8. 「誰もが有機農産物を買う価格」のために生産者への還元が不足するのではないかと懸念しています。

A8. 持続可能な取り組みのためには生産者への還元は必須です。生産者が作り続けられる価格と消費者が買い続けられる価格の両立を目指しています。

Q9. 出資金を自分の望む目的(脱プラスチック、アニマルウェルフェア、香害対策など)に使うように指定できないか。
A9. 出資金の使途限定はできるか調べてみます。子ども笑顔基金のような寄付の仕組みなら可能なので検討します。

◆第6次中期計画について

Q10. ビジョンについている英語は何のためにあるのか。ビジョンの単語の英訳というわけでもなく、分かりにくい。

A10. ビジョンの単語(広げる、届ける、伝える、商品、ふうど、つながる、みらい)を補足する形で、より広くビジョンをイメージできるように中期計画策定会議で考えました。たしかにビジョンの単語の英訳と誤解される表記になっているので、今後の運用において誤解を招かないよう改善します。

◆組合員活動について

Q11. オンラインイベントが増えているので、録画を後日でも見れるようにしてほしい。

A11. 5月末に初めて「後日録画視聴OK」のイベントが開催されます。今後このような開催方法や録画の公開など、組合員の学びの機会を増やせる方法を検討していきます。

Q12. 活動に協力してくれている議員を応援できないか。

A12. 生協は法律により、特定の政党や候補者の支援は禁止されています。応援したい場合は個人でお願いします。

Q13. コロナを機に畑やプランターで野菜を育てる人が増えているように感じる。一般向け栽培セミナーをしてほしい。

A13. ベランダオーガニックのような企画を開催検討します。

◆配送について

Q14. 配送の遅延があると配送スタッフに何かあったのではと心配になる。

A14. スタッフ数は充足しており、組織体制も安定し、スタッフに過剰な負荷がかかって遅延につながっているわけではありませんので、その点をご安心ください。遅延の場合、より分かりやすい形でお知らせできるよう、技術的なことも含め検討していきます。

◆商品や商品情報の公開について

Q15. 農薬リストの字が小さくて見えない。

A15. 表記方法の分かりやすさも含め、再度事業連合(品質管理部)に改善を申し入れます。

Q16. ウィンナーのピッキングミスについて情報公開の不足があった。今後はそのようなことがないようにしてほしい。

A16. SMS(携帯電話番号へのメッセージ通知)なども活用し、きちんと情報が届くくみを検討します。

Q17. 商品基準はあるか。添加物や有機JASで使用が認められている農薬についても本当に大丈夫なのか心配。

A17. コープ自然派独自の商品取り扱い基準があります。心配な添加物や農薬などがあればお問い合わせください。

その他、脱炭素やフェアトレード等についてもご意見をいただきました。視野を広く学習を重ねながら進めていきます。